

WHAT'S NEW

一日経トレンドィ 6月号

シャープ「蚊取空清 FU-GK50」

夏が近づくとつれ悩まされる場面が増える蚊を、空気清浄機で吸い込んで捕獲する。そんな世界初の製品をシャープが発売した。最大の特徴は、蚊が近寄っていく習性がある紫外線（UV）ライトを内蔵した点だ。本体の



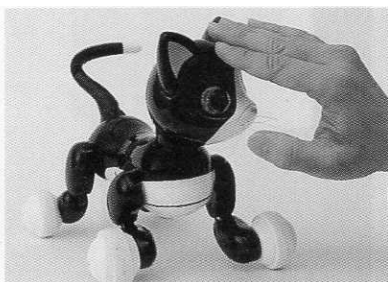
蚊取りボタンを押すとUVライトが点灯し蚊をおびきよせる

内側で紫外線ライトを光らせ、引き寄せられた蚊を空気と一緒に吸い込み、裏蓋の内側にセットされた粘着シートにくっついて捕獲される。実は蚊取空清は、蚊が媒介する感染症に悩まされる東南アジアで、昨年9月に先行発売された製品。生産はタイ工場、シャープとして初めて東南アジア向け製品を日本に“逆輸入”した格好だ。

タカラトミー「hello! Woonyan」

タカラトミーの家庭用ロボットシリーズ「オムニロボット」から、新機軸の猫型ロボットが発売された。「Hello! Woonyan（ハロー！ウ〜ニャン）」は、猫特有の自由奔放さを再現。人から離れてどこかへ行ってしまうかと思えば、突然甘えてきたり、放っておくと勝手に眠ってしまったりと、予測できない動きをするのが特徴だ。頭と頬にタッチセンサーを備え、スキンシップも楽しめる。頭や頬をなでるとゴロゴロと喉をならす姿は、猫そのもの。脚の先がタイヤになっており、動きは素早い。前進や後退の他、回転や飛びかかるような動きにも対応。伏せをしたり、伸びをしたりと、猫特有の動きも再現する。

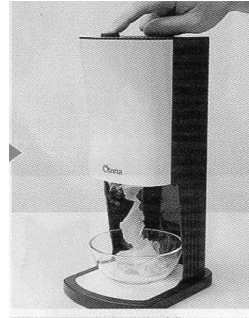
15年以降、「ネコノミクス」という言葉が生まれ、空前の猫ブームが到来している。関連グッズの経済効果は、年間2兆円ともいわれるほど。リアルな猫を飼えない人



でもウ〜ニャンなら猫らしさを手軽に楽しめるとあって、子供だけでなく大人にも受けそうだ。

ドウシシャ「電動ふわふわ とろ雪かき氷器」

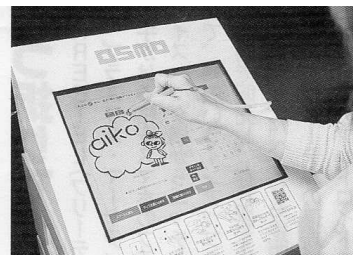
夏の風物詩の1つであるかき氷が、ここ数年、その姿を大きく変えつつある。シャリシャリとした氷に甘いシロップをかける昔ながらの形態に代わって最近人気なのが、ふわふわの食感で、氷自体に甘い味が付いた台湾流のかき氷。この新食感のかき氷が、今年からは自宅でも簡単に作れるようになる。家庭用としては初となる、味付き氷を削れる「電動ふわふわ とろ雪かき氷器」が、ドウシシャから発売された。特徴的なふわふわの食感、刃の出方を調節することでつくり出す。出方を浅くすれば、かんなどで削ったように



薄くて、ふわふわ感は増す。実勢価格は5980円（税別）とやや高めだが、「同価格帯で、ふわふわの食感が売りの『電動本格ふわふわ氷かき器』は売れ行き好調」（ドウシシャ）。

シャチハタ「OSMO(オスモ)」

スタンプ市場で最大手のシャチハタが今春、個人向けの新サービス「OSMO（オスモ）」の展開を始めた。これは、利用者の好みに応じて、その場で印面を自在にカスタマイズできる画期的な“スタンプ自販機”。老舗文具店の嶋屋 銀座本店（東京都）、裏磐梯レイクリゾート（福島県）に設置されている他、商業施設や観光地、テーマパークなど、今年度中に全国100か所に導入する予定だ。オスモ用スタンプホルダーのサイズは3種類（税別500〜800円）。利用者はこれを設置店舗で購入し、内部の印面ユニットをオスモ本体にセットする。本体のタッチパネルでは30種類以上のフレームやイラスト、8種類のフォントを駆使して、印面のデザインが可能。また、スマートフォン専用サイト「オスモパーク」経由でアップロードした写真をベースにスタンプを作ること



タッチパネルで操作は簡単。文字を書いたり絵柄の配置を変えたりできる。

できる。サイズによって仕上がり時間は異なるが、20〜40秒ほどと早い。また、このスタンプはインキの補充ができないものの、約3000回も押せるので長く楽しめる。